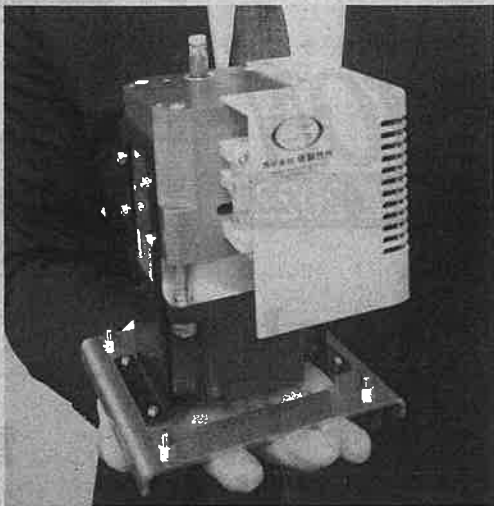


協働ロボ用圧縮機参入

坂製作所、小型で静音

S/MC製エア機器動力源に

【京都】坂製作所（京都市右京区、坂栄孝社長）は、コンプレッサー事業の売上高を2025年9月期に現状比約7・5倍の1億5000万円に引き上げる。静音で小型の同社製コンプレッサーがS/MC製エア機器の動力源に採用され、販売代理店契約を結んだ。市場拡大が進む協働ロボット用小型圧縮機市場に本格参入する。



製造現場でのエネルギー利用削減の流れを受け、工場全体にエアを送る集中管理方式ではなく、使用したい部分にエアを送る分散方式への注目が高まっている。無駄な稼働を抑え省エネを実現できるコンプレッサーの需要

が伸びるとみて、生産・開発体制の強化に約3000万円を投じる計画だ。注力する小型コンプレッサーの外寸は151mm×144mm×220・5mm、質量約6kgと手のひらに乗るほど小型で、騒音値は図書館内相当の43dB以下。小型ながら最大吐出圧力0・5MPa、吐き出し量は毎分10リットルと高出力で、連続運転が可能。自律移動ロボット（AMR）に協働ロボットを載せたユニットなどへの使用に向

く。2022年夏には約3000万円を投じ、数値制御（NC）旋盤に加え、研磨機や3次元CADを導入し、コンプレッサーの内製化を図る。協力会社に依頼していた切削加工工程を内製化して生産効率を上げつつ、難易度の高い同コンプレッサーの加工精度を上げ、歩留まりを改善する。投資の一部に事業再構築補助金を充てる。坂製作所の主力は、半導体製造装置向けなどの精密部品加工。技術を生かし、約10年前に自社製品のコンプレッサー事業に参入した。ロボット向けなどを強化し、22年9月期の売上高は前期比約3割増の2億円を狙う。

鋳物砂の冷却能力2倍

高橋鋳造所、装置を更新

【岐阜】高橋鋳造所 橋宏明社長は、本社（岐阜県各務原市、高鋳造工場）で鋳物砂の冷却装置（サンドクーラ）を更新した。冷却能力を2倍にし鋳物砂の冷却に不具合が出やす

く、多量の冷却能力を必要とした。新冷却装置は空冷式。同社の日産200ト規模で使う鋳物砂を確実に40度C以下にする能力がある。同社は中子を20点使用するような複雑形状の中物の鋳物を得意とし、2022年3月期

必要だった。新冷却装置は空冷式。同社の日産200ト規模で使う鋳物砂を確実に40度C以下にする能力がある。同社は中子を20点使用するような複雑形状の中物の鋳物を得意とし、2022年3月期

円。ガス管・バルブ、建設機械・農業機械・鉄道の部品など製品は幅広く、試作や一品物の受注も多く、砂型を成型する頻度も高い。鋳物砂の冷却工程の更新で、わずかに残る工程内不良率をさらに改善する。

樹脂レンズ曇り防

TRINIC、静電気技

【浜松】TRINIC（浜松市西区、高柳真社長）は、樹脂成形品のレンズやカバーの曇り防止装置「スタティ」樹脂成形時に樹脂にたまる静電気を除去する技術を開発、発売した。同社の静電気対策機器の技術を活用し、曇り防止装置「スタティ」樹脂成形時に樹脂にたまる静電気を除去する技術を開発、発売した。同社の静電気対策機器の技術を活用し、曇り防止装置「スタティ」樹脂成形時に樹脂にたまる静電気を除去する技術を開発、発売した。

ZMP

長崎のホテルで宅配ロボ実験

ZMP（東京都文京区、谷口恒社長）は、長崎市のリゾートホテルで宅配ロボット「デリロII写真」を活用した宅配実験を21日に始める。自動運転技術を活用したデリロにより、ホテル宿泊客から注文をスマートフォンやタブレット端末で受け付け、品物を部屋まで届ける。宅配ロボットの技術検証とともに、コロナ禍で利用が低迷している観光施設の活性化や生き残りにつなげる。



実験は長崎県の産業労働部、デュアルキーシステム（長崎市）、KPGホテル&リゾート（同）と共同で、23日まで行う。長崎市内のリゾートホテル「アイランドナガサキ」でデリロが品物を配達する。